

災害記事から防災・減災を読む

～災害報道の後を考える～

E-1-1-8
東日本
大震災

【対象】 一般教員、司書教諭、司書、児童・生徒
一般 他

【時間】 50分

【会場】 会議室、教室、多目的ルーム、など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 A3程度の紙 付箋3枚 (①②③)
キット 8-1-1-1 8-1-1-2 8-1-1-3 8-1-1-4
今年の新聞各紙を自分で用意しておく。

【講師】 不要

【活動の流れ】

- ① 2011年9月～2014年の新聞の一面から東日本大震災に関連する記事を探す。
新聞社・年の異なるもの。地域の異なるものを選ぶ。
*東北地方の地方紙もあるとよい。
- ② 東日本大震災の記事で気になるものを読み、印象に残った文と記事の見出しを抜き出す。新聞の発行年月日も明記する。付箋①
- ③ 今年の3月11日の新聞からの被災地の状況が書いてある記事を探す。
- ④ 付箋②に③の新聞記事の見出しと印象に残った文を抜き出す。新聞の発行年月日も明記する。
- ⑤ 付箋①②を比べ、防災・減災について考えたことを付箋③に書き、それらをA3の紙に貼り、新聞形式にまとめる。

【その他】 被災当時の困難の状況から、現在どのような改善が図られているかをたどります。他の災害の学習にも応用できます。A3程度の用紙に付箋を貼りつけ、個人の新聞形式に仕上げますが、グループでの学習もできます。